

ハニトの〇〇な話

No.6



こんにちは。寒いのがもう少しで終わると思いますが、みなさん、冬を元気に過ごせましたか？去年の10月辺りにカメムシがたくさん発生した時期があって、その時「今年はとても寒くなり、雪もたくさん降る」と言われました。しかし、今のところ(2月下旬)雪が2回しか降っていないですし、慣れたのもあるかもしれませんが、寒さもいつもより厳しくない気がします。これから、雪も降らず少しずつ暖かくなって欲しいです。雪景色は確かにきれいですが、不便なところがたくさんあるので、私的に雪はもう降らなくて結構です。(^▽^)

でも、子どもの頃、雪が降るのをいつも楽しみにしていました。それはなぜかと言うと、雪合戦や雪だるまを作る楽しみもありましたが、それよりも保育園や学校が休みになることが楽しみでした。イスラエルの面積の半分以上は砂漠なので、雪は珍しいものです。降ることがあっても積もることはめったになかったです。なので冬用のタイヤ、ウェア、長靴などは、北に住んでいる人たち以外は整える人が少ないです。私は小さい頃、雪が積もったときに手袋とスニーカーの上にビニール袋を輪ゴムで止めて、外で雪遊びをした覚えがあります。タイヤがないから車が動かせないので、雪予報が出たら、みんなが慌ててスーパーへ行って、品物がなくなる位の勢いで買い物をします。日本人の目線から見ると笑えるでしょう。

でも、昨年12月にエルサレムでは、なんと94年振りに大雪が降りました。1号線が通行止め

になり、警察や救急車しか通れない状態。車が止まって、山道を隣の町まで歩くか、車の中で助けを待つのですが、どちらも実現不可能です。また、家にいた人も安心できませんでした。電話も携帯もつながらなくて、電気や水が止まっているので、部屋を暖めることもできなければ、お湯を沸かしたり、ご飯を作ったりすることもできません。21世紀にしては、ありえない状態でした。それが完全に復旧するまでに1週間以上



かかりましたので、本当に大変な大雪でした。日本でもし同じような事が起き

たら、もっと上手に対応できることを期待しています。

国際交流協会コーナー

3月16日に八百津の伝統になったイスラエルのお祭り「プーリム・カーニバル」が行われました。インターネットで「プーリム・カーニバル」を検索してみてください。みなさんが驚いて、そして嬉しくなるような事実がそこにあります。

では、来月の広報までみなさんお元気で！

ハニトさんへの質問は
hanito@town.yaotsu.lg.jp までどうぞ！